

角型手洗器 取扱施工説明書

M-G1668A

このたびは、角型手洗器をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

施工前・使用前に必ずお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

安全上のご注意

施工・使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



気を付けていただきたい「注意」を表します。



必ず実行していただく「強制」を表します。



してはいけない「禁止」を表します。

施工上のご注意



注意

- 施工前に輸送中の破損がないか確認してください。
- 施工される際、手洗器に物をのせたり、強い衝撃（物を落とす、たたくなど）を与えたりしないでください。破損および故障の恐れがあります。
- 本品と組合わせて使用する水栓金具は、必ず止水栓（流量調整のできる器具）を取付けた配管に設置してください。
- 施工後の確認を必ず行ってください。
- 施工完了後、お客様が使用されるまでの間、手洗器の表面にキズや汚れがつかないように、養生シートなどで保護してください。



必ず実行

- 手洗器は平らなカウンターに設置してください。破損および故障の恐れがあります。
- 手洗器と壁面およびカウンターのすきま、排水金具の指定位置には必ずシリコンコーキングなどのシール材（防カビタイプ）を塗布してください。漏水により家財に損害を与える恐れがあります。
- 排水金具の締付ナットは、手洗器の破損を防止するため、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。

使用上のご注意



禁止

- 手洗器に熱湯や油、シンナーなどの溶剤を流さないでください。破損および故障の恐れがあります。また、漏水により家財に損害を与える恐れがあります。
- 手洗器に物をのせたり、強い衝撃（物を落とす、たたくなど）を与えたりしないでください。破損および故障の恐れがあります。
- 手洗器にひびが入ったり、割れた場合、破損部には素手で触らないでください。破損部でケガをする恐れがあります。
- 手洗器にひびが入った状態で使用しないでください。突然割れてケガをする恐れがあります。

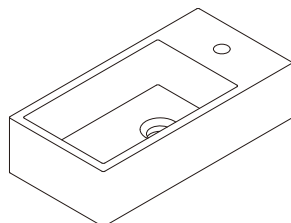


注意

- 汚れを長く放置すると表面に汚れがしみ込むことがあります。水拭きをし、こまめにお手入れをしてください。
- 金属たわしやクレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、表面を傷めますので使用しないでください。
- 金属類（ヘアピン、カミソリの刃など）を放置しないでください。サビが付着して取れなくなる場合があります。
- スチームクリーナーは、製品が破損する原因となりますので、使用しないでください。

製品同梱明細

■ 施工される際に各部材をご確認のうえ、ご使用ください。



手洗器



両面テープ(×2)

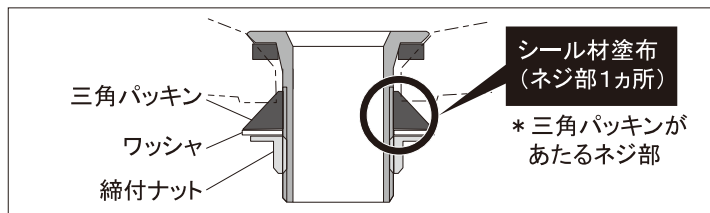


取扱施工説明書

取付方法

1. 排水金具を取付けます。

* 詳細は器具の説明書を参照してください。



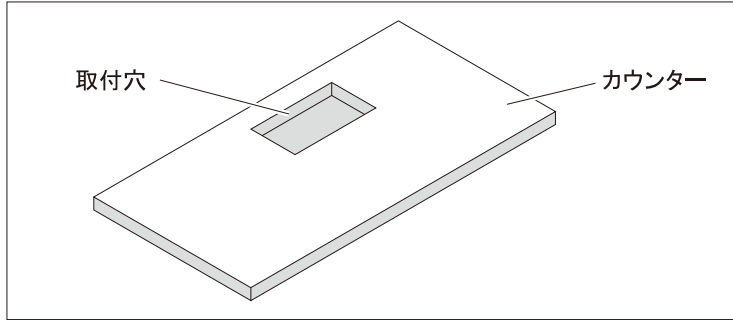
注意

- 排水金具取付けの際は、漏水を防止するため、必ず指定位置に、シリコンコーキングなどのシール材を塗布してください。
- 締付ナットは、手洗器の破損を防止するため、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。

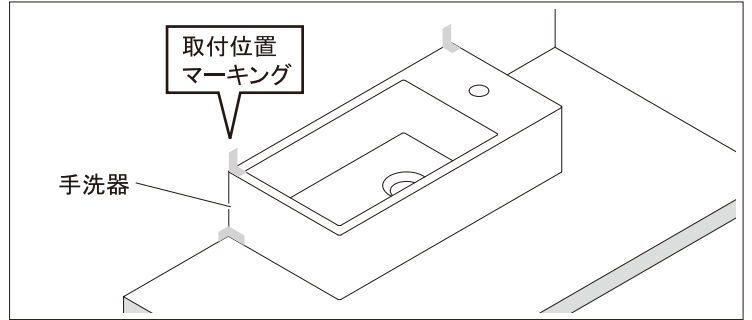
裏面へ続く➡

取付方法(つづき)

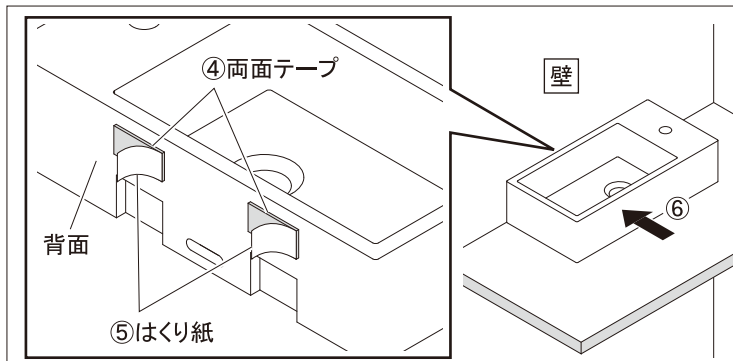
2. 手洗器を取付けます。



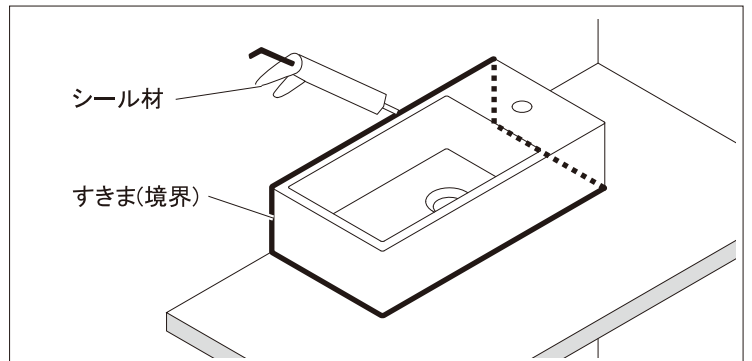
- ①手洗器を取付けるカウンターに指定の取付穴を開けます。
* 取付穴は手洗器の仕様図面を参照してください。
- ②カウンターを取付けます。



- ③手洗器を取付ける位置に手洗器を仮合わせし、取付位置をマーキングします。



- ④両面テープの片面のはくり紙をはがし、上図のように手洗器の背面2か所に両面テープを貼付けます。
- ⑤両面テープのはくり紙をはがしてから、マーキングに合わせて手洗器をカウンターに設置します。
- ⑥手洗器の背面を壁に押付け、両面テープで手洗器を壁にしっかりと固定します。



- ⑦手洗器と壁のすきま(境界)および手洗器とカウンターのすきま(境界)にシール材を充てんし、きれいに仕上げます。

3. 水栓金具(別売)・排水トラップ(別売)を取付けます。

* 水栓金具および排水トラップを取付ける際は付属の説明書等を参照してください。



施工後の確認が完了するまでは、水栓金具を吐水させた状態などでその場を離れないでください。漏水により家財などを濡らす恐れがあります。

施工後の確認

* 施工後は、止水栓または元栓を開いて通水し、必ず下記確認をしてください。

- ①手洗器の取付状態の確認
ガタツキがないか確認をします。

- ②水栓の吐水量の確認、及び調整
水栓を吐水させ適正な吐水量であるか確認をします。
* 水ハネが激しい場合は、止水栓を絞ってください。
* 吐水量が排水能力を上回る(あふれる)場合は、適正水量になるまで止水栓を絞ってください。

- ③漏水、排水の確認
通水・排水経路の接続各部に漏水がないか確認をします。排水がスムーズに行われるか確認をします。
* 詳細は、各器具の説明書を参考にしてください。



メンテナンスなどで、止水栓を閉め、再び開く場合などには、水栓の吐水量の確認、及び調整を必ず行ってください。(施工後の確認 ②)